



I コマンド

この章では、I で始まる基本的な Cisco NX-OS システム コマンドについて説明します。

install all

Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチにキックスタート イメージおよびシステム イメージをインストールするには、**install all** コマンドを使用します

install all [**kickstart** *kickstart-url*] [**system** *system-url*]

構文の説明

kickstart	(任意) キックスタート イメージ ファイルを指定します。
<i>kickstart-url</i>	キックスタート イメージ ファイルの完全なアドレスを指定します。名前では、大文字と小文字が区別されます。
system	(任意) システム イメージ ファイルを指定します。
<i>system-url</i>	システム イメージ ファイルの完全なアドレスを指定します。名前では、大文字と小文字が区別されます。

コマンド デフォルト

パラメータを入力しない場合は、ブート変数の値が使用されます。

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。
5.0(3)N1(1)	レイヤ 3 インターフェイスのサポートが追加されました。

使用上のガイドライン

キックスタートおよびシステムの URL の形式は、ファイル システム、ディレクトリ、およびファイルの場所によって異なります。

次の表は、ファイル システムのタイプごとの URL プレフィックス キーワードのリストです。URL プレフィックスのキーワードを指定しない場合、スイッチは、現在のディレクトリ内のファイルを検索します。

表 1 は、書き込み可能なローカル ストレージ ファイル システムの URL プレフィックス キーワードのリストです。表 2 は、リモート ファイル システムの URL プレフィックス キーワードのリストです。リモート ファイル システムでは、特に指定しない場合、パスはリモート サーバ上のユーザのデフォルトパスです。

表 1 書き込み可能なローカル ストレージ ファイル システムの URL プレフィックス キーワード

キーワード	コピー元またはコピー先
bootflash:[//server/]	ブート フラッシュ メモリのコピー元 URL。server 引数の値は、 module-1 、 sup-1 、 sup-active または sup-local です。

表 1 書き込み可能なローカルストレージファイルシステムの URL プレフィックス キーワード (続き)

キーワード	コピー元またはコピー先
modflash: <i>[//server/]</i>	外部フラッシュファイルシステムのコピー元 URL。 <i>server</i> 引数の値は、 module-1 、 sup-1 、 sup-active または sup-local です。
volatile: <i>[//server/]</i>	デフォルトの内部ファイルシステムのコピー元の URL。このファイルシステムに格納されたファイルまたはディレクトリはすべて、スイッチのリブート時に消去されます。 <i>server</i> 引数の値は、 module-1 、 sup-1 、 sup-active または sup-local です。

表 2 リモートファイルシステムの URL プレフィックス キーワード

キーワード	コピー元またはコピー先
ftp:	FTP ネットワーク サーバのコピー元の URL。このエイリアスの構文は次のとおりです。 ftp: <i>[//server][/path]/filename</i>
scp:	Secure Shell (SSH; セキュア シェル) をサポートし、Secure Copy Protocol (SCP) を使用するネットワークサーバのコピー元の URL を指定します。構文は次のとおりです。 scp: <i>[//[username@]server][/path]/filename</i>
sftp:	SSH FTP (SFTP) ネットワーク サーバのコピー元の URL。構文は次のとおりです。 sftp: <i>[//[username@]server][/path]/filename</i>
tftp:	TFTP ネットワーク サーバのコピー元の URL。構文は次のとおりです。 tftp: <i>[//server[:port]][/path]/filename</i>

イメージファイルをリモートサーバからダウンロードしてインストールするとき、サーバに関する情報またはユーザ名を入力していない場合は、情報の入力を求められます。

このコマンドは、キックスタートおよびシステムのブート変数を設定し、イメージファイルを冗長スーパーバイザ モジュールにコピーします。

install all コマンドを使用すると、スイッチソフトウェアをアップグレードして、接続されているすべてのシャーシのファブリック エクステンダ ソフトウェアをアップグレードできます。ソフトウェアのコピー中、ファブリック エクステンダにより、通過中のトラフィックはオンラインのままになります。ソフトウェア イメージが正常にインストールされると、親スイッチおよびファブリック エクステンダ シャーシが自動的にリブートされ、親スイッチとファブリック エクステンダ間でのソフトウェアバージョンの互換性が維持されます。

install all コマンドを使用すると、スイッチの Cisco NX-OS ソフトウェアをダウングレードできます。ダウングレードソフトウェアに、スイッチの現在の設定との互換性があるかどうかを調べるには、**show incompatibility system** コマンドを使用し、設定の互換性に問題がある場合は、それを解決します。

Cisco NX-OS Release 5.0(3)N1(1) では、レイヤ 3 機能がイネーブルになっている Cisco Nexus 5548 スイッチおよび Cisco Nexus 5596 でのソフトウェア アップグレードは中断されます。スイッチと Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダをリロードする必要があります。

例

次に、bootflash: ディレクトリから Cisco NX-OS ソフトウェアをインストールする例を示します。

```
switch# install all kickstart bootflash:nx-os_kick.bin system bootflash:nx-os_sys.bin
```

次に、キックスタートおよびシステムのブート変数に設定された値を使って、Cisco NX-OS ソフトウェアをインストールする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# boot kickstart bootflash:nx-os_kick.bin
switch(config)# boot system bootflash:nx-os_sys.bin
switch(config)# exit
switch# copy running-config startup-config
switch# install all
```

次に、SCP サーバから Cisco NX-OS をインストールする例を示します。

```
switch# install all kickstart scp://adminuser@192.168.1.1/nx-os_kick.bin system
bootflash:scp://adminuser@192.168.1.1/nx-os_sys.bin
```

関連コマンド

コマンド	説明
reload	デバイスに新しい Cisco NX-OS ソフトウェアをリロードします。
show incompatibility system	Cisco NX-OS システム ソフトウェア イメージ間の設定互換性の問題を表示します。
show install all	インストール処理に関する情報を表示します。
show version	ソフトウェア バージョンに関する情報を表示します。

install license

ライセンスをインストールするには、**install license** コマンドを使用します。

```
install license [filesystem:] [//server/] [directory] src-filename [target-filename]
```

構文の説明

<i>filesystem:</i>	(任意) ファイル システムの名前。有効な値は、 bootflash または volatile です。
<i>//server/</i>	(任意) サーバの名前。有効な値は、 /// 、 //module-1/ 、 //sup-1/ 、 //sup-active/ または //sup-local/ です。2 個のスラッシュ (//) を含む必要があります。
<i>directory</i>	(任意) ディレクトリの名前。ディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。
<i>src-filename</i>	元のライセンス ファイルの名前。
<i>target-filename</i>	(任意) ターゲット ライセンス ファイルの名前。



(注)

filesystem://server/directory/filename スtringにはスペースを含めることはできません。この文字列の各要素は、コロン (:) とスラッシュ (/) で区切ります。

コマンド デフォルト

Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチのライセンスはすべて、工場出荷時にインストールされています。手動インストールは不要です。

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

ターゲット ファイル名をコピー元の場所の後に指定した場合は、ライセンス ファイルがその名前でインストールされます。それ以外の場合、コピー元 URL のファイル名が使用されます。また、このコマンドはインストール前のライセンス ファイルも検証します。

例

次に、bootflash: ディレクトリに常駐する、license-file という名前のファイルをインストールする例を示します。

```
switch# install license bootflash:license-file
```

関連コマンド

コマンド	説明
show license	ライセンス情報を表示します。
show license host-id	ライセンスに使用するシャーシのシリアル番号を表示します。
show license usage	ライセンス使用情報を表示します。